

# AAA+のコンテンツ(メタスクリプト・セット)の登録設定

## 簡易説明版

の部分はユーザが自由に決めることができ、の部分ではあらかじめ決まっていることをあ  
らわします。

### 1. 編集する

D:¥UTFfile¥test.utf ファイルを編集作成します。「AAA+ のコンテンツ (メタスクリプト・セッ  
ト) 作成」を参照してください。

### 2. コンパイルする

コマンドラインで以下を実行します。

```
C:¥Program Files¥ILCAA¥AAAPlus¥tools¥a3dbldr D:¥UTFfile¥test.utf
```

D:¥UTFfile¥test.utf があるフォルダーに、自動的に D:¥UTFfile¥test.data と D:¥UTFfile¥test.a3d が  
作られます。

( D:¥UTFfile¥test.a3d は D:¥UTFfile¥test.utf におけるメタスクリプト定義部分の第 3 フィールド  
Extensive Information が記述されているときのみ作られます )

### 3. ファイルを登録する

作成されたファイル D:¥UTFfile¥test.data (と D:¥UTFfile¥test.a3d ) を

```
C:¥Program Files¥ILCAA¥AAAPlus¥server¥leif¥a3dle¥unit¥LOCALEname¥data
```

のフォルダーに置きます。

test.utf を上記フォルダでコンパイルしていれば 3. は必要ありません。test.utf 自身は、AAA+  
には必要ありません。内容の追加や修正に利用してください。

### 4. 自動設定する

```
C:¥Program Files¥ILCAA¥AAAPlus¥tools¥autoconf.cmd
```

を実行します(実際には上記のファイルをダブルクリックするだけです)。その際コマンドラインの  
画面で更新の確認を 4 回聞いてくるので、そのたびに  +  を押します。

### 5. OS を再起動する

test.data と test.a3d が修正などで更新されたファイルの場合、旧ファイルの名前とフォルダーが同  
じであれば再起動しなくてもかまいません。